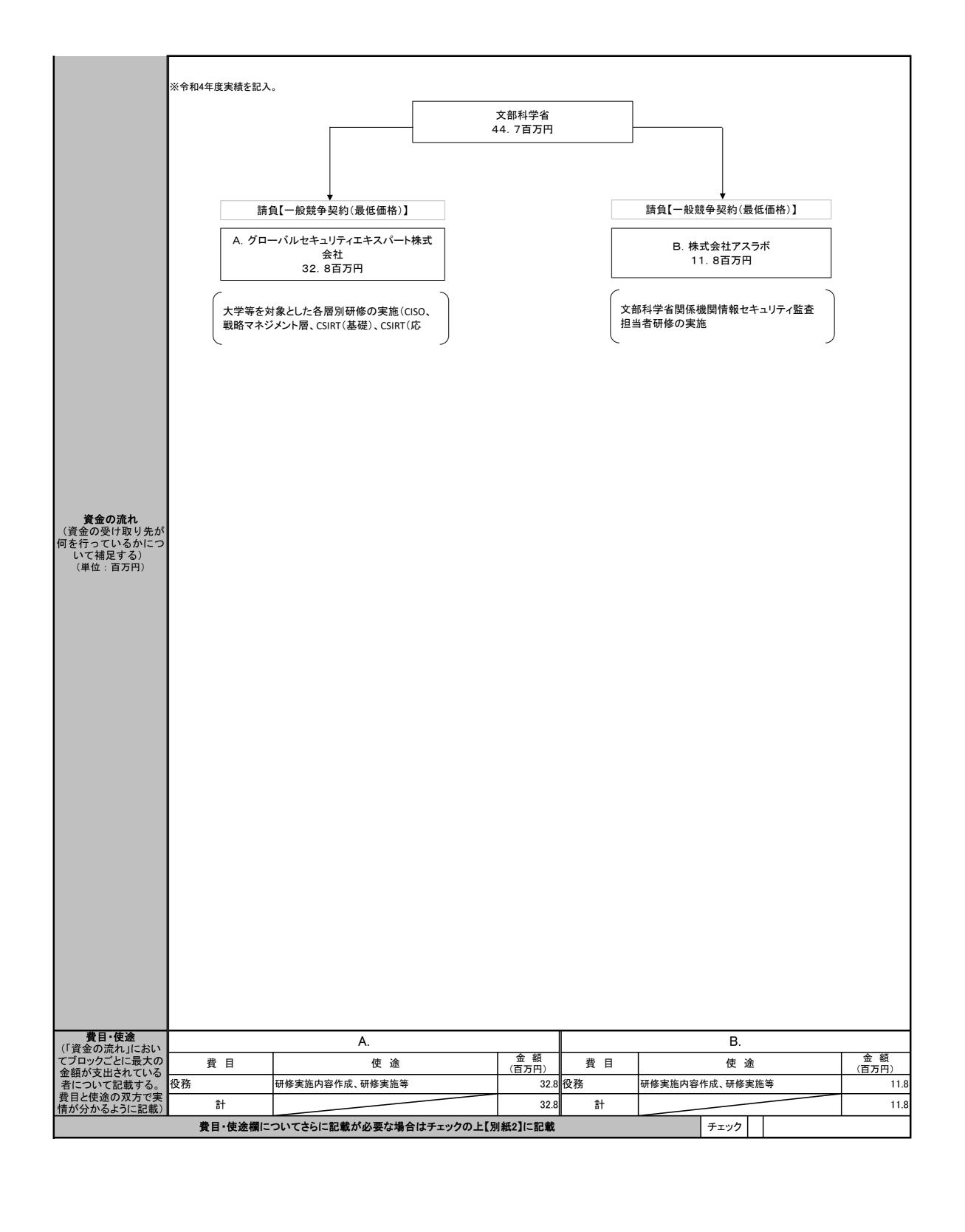
事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0170

					争耒奋亏	2023 –	文科 - 22	- 01/0
				で行政事業レビ.	ューシート	(文部科	学省)
事業名		情報セキュリティ人 ^お †するサイバーセキュ		の実施)	担当部局	庁 大臣官房政策課		作成責任者
事業開始年度	平	成30年度	事業終了		なし 担当課金	を 大臣官房政策調		サイバーセキュリティ·情報 化推進室長 坂本 秀敬
 会計区分	一般会計		(1727)					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	(国は、中小企 る情報が我が イバーセキュ! 解の増進、サ	国の国際競争力の強化 リティに対する取組が促	業者及び大学その他の とにとって重要であるこ !進されるよう、サイバ-	教育研究機関が有する知的財とに鑑み、これらの者が自発的ーセキュリティの重要性に関するな情報の提供及び助言を行うこ	りに行うサ 関係する 5関心と理 計画 通知	サイバーセキュリ· 決定)	ティ戦略(令和3年9月28日、 ティ2023(令和5年7月4日、サ ナイバーセキュリティ対策等の 6月22日)	イバーセキュリティ戦略本部
政策	4 個性が	輝く高等教育の技	振興					
施策	4-1 大学	などにおける教育	育研究の質の向.	L	主要経費		その他の事項経	費
女策体系·評価書UR	RL -							
事業の目的 (5行程度以内)				して、リスクマネジメント ⁴ ための取組を促進するこ		骨別研修及び実践的な訓 線	東・演習を実施することにより、	、大学等における自律的かつ
現状・課題 (5行程度以内)	れるところ ⁻ することが	である。このような 必要である。 á関係機関における	事案発生時に適切	に対応するため、さらに	は事案の発生を未然に関	坊ぐ措置を適切に講じるた	おり、さらに高度なサイバー攻か、文部科学省関係機関になった。 ウ、文部科学省関係機関になった。 ティ監査担当者等を対象とした	おけるセキュリティ人材を育成
事業概要 (5行程度以内)	株・/典目で:	失 心 y る。						
事業概要URL	-							
<u>実施方法</u>	委託•請負							
補助率等	-							
				令和2年度	令和3年度	一 令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		少知圣	笛 / A \	55	47.9	47.9	47.9	47.9
		当初予算	-			47.9	47.9	47.9
	-	補正予算	异 (D <i>)</i>		-			
	-							
	-							
	予算の							
予算額•	状況 -						-	
執行額	-	* F # 1. > 1	(0) 14+=1	10.5			-	
(単位:百万円) (インプット)	-	前年度から		13.5	_	-	_	
	_	翌年度へ終			-	_	-	
		予備費等		19	_		-	
		計(F =(A)+(B)+(C		87.5	47.9	47.9	47.9	47.9
		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			1	44.7		
		執行額(G)		87.4	46.7	1 ''''		
				100%	97%	93%		
	当初予算	執行額(G) 執行率(%)	する執行額の					
	当初予算	執行額(G) 執行率(%) =(G)/(F) +補正予算に対 割合(%)	する執行額の	100%	97%	93%	主な増減理由(・要望額・	予備費)
令和5-6年度	当初予算	執行額(G) 執行率(%) =(G)/(F) +補正予算に対 割合(%) =(G)/{(A)+(B) 歳出予算項・	する執行額の	100%	97% 97%	93%	主な増減理由(・要望額・	予備費)
令和5·6年度 予算内訳 (単位·百万円)		執行額(G) 執行率(%) =(G)/(F) +補正予算に対 割合(%) =(G)/{(A)+(B)} 歳出予算項・ 高等 (目) 情報処	する執行額の) 目 教育振興費 L理業務庁費	100%	97% 97%	93%	主な増減理由(・要望額・・	予備費)
		執行額(G) 執行率(%) =(G)/(F) +補正予算に対 割合(%) =(G)/{(A)+(B)} 歳出予算項・ 高等 (目) 情報処	する執行額の)} 目 教育振興費	100% 159% 令和5年度当初予算	97% 97% 令和6年度要求	93%	主な増減理由(・要望額・・	予備費)

	i動内容① 'クティビティ)	や実践的な訓練・演習を実施する。	ィ人材を育成するため、CISO、『	, жис (1, 7, 7, 7, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	アント店、	JSIRT担当有、	情報でキュリー	71.血且担当作	事 守で刈 家とし		
	<u> </u>	W.F. D. IT	Ver 21 He 172		W / I		\	\	5年度	6年度	
舌動目	票及び活動実績	活動目標	活動指標	127126	単位 ———	令和2年度	令和3年度	令和4年度	活動見込	活動見込	
(ア	① 'ウトプット) 	研修への参加	文部科学省関係機関に対する各層別研修及び実践的な訓練・演習の受講者数	活動実績 当初見込み	人	768 1,070	647 850	485 490	490	490	
ļ	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人						ることを目的と			
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	集年度 5 年度	
果目	標及び成果実績 ①−1			成果実績	%	100	94.5	93		-	
(短期	タアウトカム)	リスクマネジメントや事案対応に係る人 材の能力や知識の向上	研修全体について、今後の業 務に活かせると回答した割合	目標値	%	100	100	100	1	100	
		IN ON HEAD (MINGON IN)	JANCIAN C OCE E OFCENE	達成度	%	100	94.5	93		_	
	でる成果実績										
関す	成果実績 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。									
♥	でる成果実績 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。 成果目標							策の向上が≦	望まれるため、 	
異目	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。 成果目標	、材を育成することが期待され、 定量的な成果指標		の能力や	・知識を踏まえ - - -	、組織としての	セキュリティ対	策の向上がう	望まれるため、 	
異目	でる成果実績 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。 成果目標	、材を育成することが期待され、 定量的な成果指標 研修全体について、今後の組 織のセキュリティ対策に活か	個々の人材	の能力や	・知識を踏まえ - - -	、組織としての	セキュリティ対	策の向上がう	程まれるため、終年度年度	
♣	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。 成果目標 リスクマネジメントや事案対応に係る組	、材を育成することが期待され、 定量的な成果指標 研修全体について、今後の組	個々の人材成果実績	単位%	・知識を踏まえ - - -	、組織としての	セキュリティ対	策の向上がう	型まれるため、 最終年度 - 年度	
 	では、 成果目標①-2の (短期アウトカム) 深及び成果実績 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。 成果目標 リスクマネジメントや事案対応に係る組 織の能力や知識の向上	、材を育成することが期待され、 定量的な成果指標 研修全体について、今後の組織のセキュリティ対策に活かせると回答した割合 計結果	成果実績目標値達成度	の能力や 単位 % % %	令和2年度	、組織としての	セキュリティダ	策の向上がう	と終年度一年度-	
男 () 果根計性関す () 果根計性関する () 果根計性関	である成果実績 成果目標①-2の (短期のつながり) がらのつながり) では、からののより がらののより では、カムとでは、カムでは、カムでは、カムでは、カムでは、カムでは、カムでは、カムでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カー	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。 成果目標 リスクマネジメントや事案対応に係る組 織の能力や知識の向上	、材を育成することが期待され、 定量的な成果指標 研修全体について、今後の組 織のセキュリティ対策に活か せると回答した割合	成果実績目標値達成度	の能力や 単位 % % %	令和2年度	、組織としての	セキュリティダ	策の向上がう	望まれるため、 と終年度 - 年度 -	
→→	では、 成果目標①-2の (短期のつながり) がらのつながり) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	研修への参加を通して、大学等における 案対応を実践できる能力や知識を持つ人 長期アウトカムとして設定した。 成果目標 リスクマネジメントや事案対応に係る組 織の能力や知識の向上	、材を育成することが期待され、 定量的な成果指標 研修全体について、今後の組織のセキュリティ対策に活かせると回答した割合 計結果	成果実績 目標成度 で 定性的な	が 単位 % % %	中知識を踏まえ 令和2年度	、組織としての令和3年度	セキュリティダ	策の向上がう	と終年度一年度-	

事業に関連する	名称	-	
KPIが定められている閣議決定	URL	_	
等	該当箇所	-	
	771	■ 事業所管部局による点検・改善	
		目標年度における効果測定に関する評価(令利	□○年度宝施)
		- アクティビティ①について、本事業は、サイバーセキュリティ戦略において、「国が支援するこ	
点検結界		とが重要である」とされていることを踏まえ実施する事業である。 ・一者競争契約による支出のうち一者応札となった契約があったので、競争性の確保が課題	
		となっている。	
改善の		┃ ┃・事業の重要性を鑑み、効率的かつ効果的な事業の実施に努め、事業目的を達成できるよう適切な執行管理を行う。	
方向性		・今後は、支出先の選定に当たり、十分な公告期間を確保するなど、競争性の確保に努める。	
		」	
外部有識者によ	る点検対	対象外	
		行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
事業内容の一	部改善	この事業は、近年の教育・研究機関等をとりまくサイバー攻撃といった事案への対応のために必要な事業と考えられるが、契約・執行手続の面においなっている状況が確認されるため、より一層の執行手続での工夫が必要と考えられる。	ハて一者応札と
		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
年度内に改善	を検討	一者応札の改善については、契約の質を担保しつつ、複数者が応札できるよう入札公告期間の確保等に努めたところであるが、応札者が一者となっ	ったもの。引き続
		き会計担当と連携し、入札公告期間の十分な確保や公募情報の周知を行い、競争性、公平性、透明性の確保に努める。	
		ス所ノコ こパ 「パの十久 女所 快能(パのノこユ) 「Cの バ もれ / みこの	
		-	
		上記への対応状況	
		-	
過去に受けた指と対応状況			
		その他の指摘事項	
		-	
		上記への対応状況	
		-	
		l ····································	
-			
		リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
平成23年度	-		
平成24年度	-		
平成25年度	-		
平成26年度	-		
平成27年度	-		
平成28年度	-		
平成29年度	-		
平成30年度		###	
令和元年度 ——————————	文部科学	- 	+
令和2年度 —————	文部科学	, 	
令和3年度 —————————	2021	文科 20 0168	+
令和4年度 ————	2022	」 文科 21 0164	



支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	グローバルセキュリティエキス パート株式会社	2010401086255	研修実施内容作成、研修実施 等	32.8	一般競争契約 (最低価格)	1	99.3%	-

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社アスラボ	1011001110331	研修実施内容作成、研修実施 等	11.8	一般競争契約 (最低価格)	1	99.3	3%	-
	支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								